

007 旭岳姿見平・恵庭

● 9月18日(水) 旭岳姿見平から恵庭へ 天気・晴

・朝4時45分起床。夜中にトイレに起きた時にはあんなに晴れていた空が一面雲に覆われている。現在気温10℃。昨夜この駐車場に泊まったのは私と旭川ナンバーの車の2台だけだった。それも、その車は朝早くどこかへ出て行ったので、今は私の車1台だけだ。時々トイレに寄る車が入り出している。

・今日は紅葉で有名な旭岳に行ってから恵庭に泊まって、明日は千歳空港へおみやげを買いに行こうと思う。



朝 私の車1台だけ



無料駐車場はすでに満車

朝食をとってから7時過ぎに旭岳を目指して出発した。160号線を「写真の町・東川」の町を通り、昨年見つけた立派な駐車公園の前を通過して、忠別湖の東端で天人峡へ行く道と分かれて160号線の終点・旭岳温泉に8時半に着いた。天気はと云うと、曇っていて旭岳は雲の中にあり全然見えない。

さすが紅葉の人気スポットだけあって、上にある有料駐車場はまだ余裕があるが、下の広い無料駐車場は満車だ。ぐるぐる回ってなんとか止められるスペースを見つけやっとのことで無料駐車場に駐車出来た。

・8時45分発のロープウエーに飛び乗り霧の中の姿見駅に着いた。駅でガイドのお姉さんの説明や注意事項を聞いてから、さてこれからどうしよう、旭岳へ登ろうか？一応旭岳へ登る登山の支度はしてきたが、外は一面今にも降り出しそうな霧で覆われている。今日は登山は中止して姿見平の散策だけで終わらせることにした。

・まず駅を出て右側ルートから姿見池へ登ったが、途中案の定雨が降り出した。登山客もいるが観光目的で軽装のおじさんやおばさん、それに家族連れなどが雨に濡れながら大勢歩いている。姿見池でゴアテックスの上下雨具を着けザックにもザックカバーを付けて万全の態勢を整えた。ところが雨に降られたのはこの時だけで、その後は旭岳は依然として厚い雲の中に隠れているが、ここ姿見平では時々雲が晴れて太陽が顔を出したりするようになった。鮮やかな緑のハイマツ帯の中に点在するウラジロナナカマドの真っ赤な紅葉が見事なコントラストで目の前に広がって見えた。本州で見る一面の紅葉とは違って、緑の中に赤い紅葉が点在するこの景色は、北海道独特の紅葉景色で、また一段と趣があっていいと思った。



雨も降りだした姿見池



緑の中に点在する紅葉

ロープウエー往復料金¥2800 はえらく高いと思ったが、この紅葉を目の前にするとそれなりの価値はあるなと納得して下山した。



・まだ 11 時前、恵庭に向かって車を走らせた。去年食べて大変美味かったスープカレーを食べたくて途中「道の駅・雨竜」に寄ったが、実はそのカレーは一つ北の「道の駅・北竜」のレストランだった。とんだ勘違いでスープカレーを食べられず、昼食はコンビニのおにぎりで済ます羽目になった。

・恵庭に 3 時半無事到着。毎年お馴染みのフードセンターに寄って夕食の買い物を済ませて、道の駅「花ロードえにわ」に落ち着いた。車は毎年同じ場所、私の指定席のような位置に今年も駐車した。明日はお土産を買いに千歳空港へ行って、明後日の朝小樽から帰途のフェリーに乗るので、今年の北海道もとうとう最終章に来たわけだ。そんな思いでビールを飲んでいると、天気は悪くないのにパラパラと雨が降り出して来た。なんだ通り雨か？ と思って東の空を見ると、なんと！すばらしい虹が掛っている。それも両端を地面につけて完全な形の弧を描き、おまけにくっきりと上下 2 段に輝いている。こんなすばらしい虹は初めて見た！ 写真を撮りまくった。広角にしても一枚に入りきらない。しばらくすると虹は消え快晴の青空がいっぱいに広がった。この旅の最終章を最高の演出で祝ってくれたようだ。気分良く飲み、旨いざるそばを食べて締めくくった。



道の駅「えにわ」私の指定席



道の駅「えにわ」私の指定席



最終章の演出・2段の虹がかかった

周りにはまだかなりの車が止まっている。

夜 7 時、空には星が輝きだしたが、かなり寒くなってきた。